

屋根付き粘着トラップのひとつである SE トラップは、発生予察に広く利用されています。色は（白）と（緑）の 2 タイプが販売されていますが*1、ほとんどの人が（白）を使い、（緑）を扱ったことがある人はほとんどいないと思います。

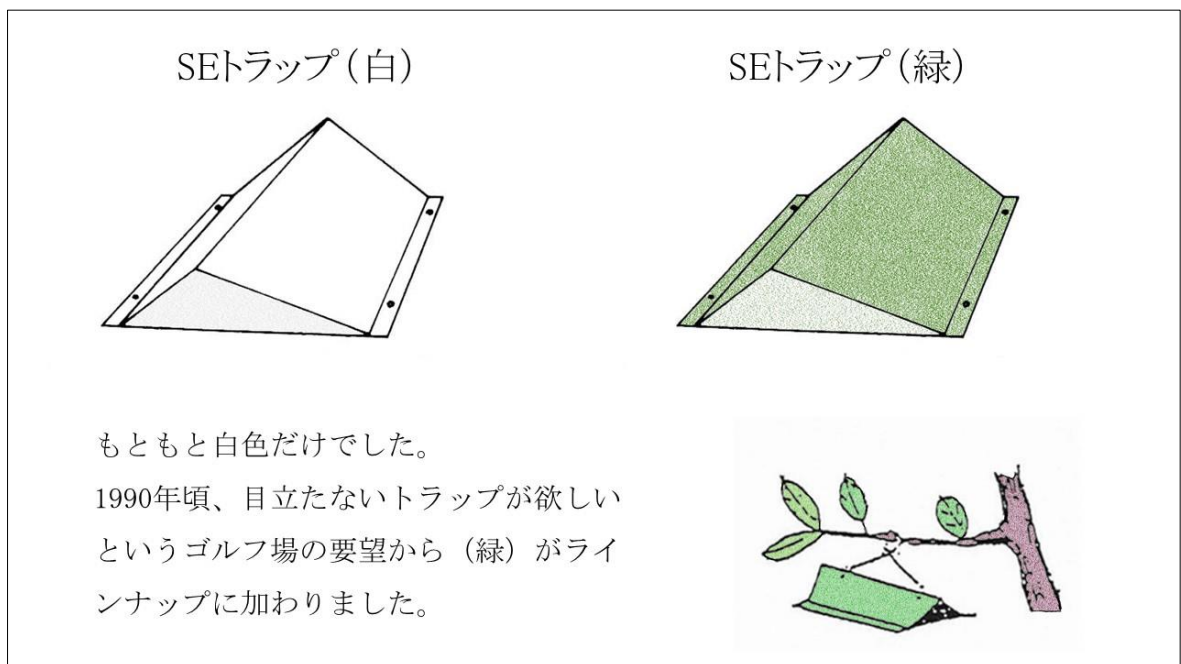
もともと SE トラップは（白）だけでした。しかし、芝害虫のフェロモン剤を開発しているとき、試験に協力してもらったゴルフ場から、

「もっと目立たない色に変えてくれませんか？」

「白だとプレイ中のゴルファーに気付かれてしまうので。。。」

という依頼がありました。

ゴルフ場に足を運ぶ人は、プレイを楽しむだけではなく、広々とした緑あふれる景観も一緒に楽しむのだそうです。



こちらは試験をお願いしている立場でしたし、色付きプラスチック段ボール（ダンプラ、もしくは、プラダンと呼ばれています）であっても白色と値段は変わらないので、急いで（緑）をラインナップに加えました。

この一件があって、これまで SE トラップがなぜ白色しかなかったのか、その理由が分かった気がしました。

ゴルフ場のグラウンドキーパーさんが指摘した通り、植栽や作物の緑をバックにすると白色はとてもよく目立ちます。圃場で「目立つ」という特徴が定期的にトラップを巡回する作業者にとって便利だったので、他色を検討してみようと考えること無く、その結果、ずっと白一択だったのではないかと思った訳です。

道路からダイズ畑を撮影



写真は、SEトラップ(白)を設置したダイズ畑を道路から撮影したものです。左下に自動車の陰が写っています。その陰から右斜め上に視線を動かすと白いものが見えます。これがトラップです。写真は今ひとつ分かり難いですが、実際の現地に立てばもっとはっきり(白)を確認することができます。

調査する人にとって、目立つトラップほど便利なものではありません。どこに設置したのか探す必要が無いからです。道路からトラップまでを最短距離で往復することができます。

また、畑では無く、葉が生い茂ったような果樹園でも、枝にぶら下げた(白)トラップは簡単に確認できます。おおよその設置場所さえ申送りしておけば、初めて訪れた人でも簡単に見つけることができるでしょう。

ファネルトラップは(緑)、(黄)、(白)の3色です。これはいかに虫をたくさん捕獲できるかという視点で開発された配色でした。しかし、SEトラップの(白)は、作業者の視点に

立って採用されたのだらうと思います。

そういえば、SE トラップが販売される前から市販されていた屋根付き粘着トラップ（武田式、Pherocon1C、デルタトラップなど）はすべて白色でした。後発の SE トラップは、先発の商品の真似しただけかもしれません。

*1 JPPA オンラインストア <https://www1.enekoshop.jp/shop/jppashop/>（2022年2月23日時点）

2022年2月23日

望月文昭